

無罪となつても

慰籍料は出せぬ

拘留に何等不法の點なし

△……けふ申立棄却さる

私文書偽造行使並に窃盗事件が無罪になつた玉川村大字島宇島一四農鈴木一夫氏(三)が武田辯護士を代理人とし刑事補償法に依り拘留中の慰籍料一日五圓宛を平區裁判所に請求した事件は既報の如くであるが今九日中島裁判長から右申立は理由相立たずとして棄却された

請求人は鈴木同族合名會社設立に際し貸弟鈴木隆枝の委任状及び實印を偽造し社員登記をした上更に借用證書を偽造し同人所有の田地を抵當にして金一千圓を借用した旨

紀元節を前に梅花一齊に開く



の登記をした外村税滞納の爲め同村役場より差押へられた玄米三十六俵時價百八十八圓を勝手に賣り飛ばし窃取したといふ理由の下に公訴勾留されたもので取調への結果文書偽造は證據不十分となり又役場吏員が差押へる際封印等をしなかつた手落ちの点から無罪になつたとはいふに事實上差押へられた事は明かだこれを無視したのは著しく非難すべき行爲であるから拘留したとて何等不法の點なく慰籍料の請求する理は認めざる事は出來ない

といふにある

小剣豪達の

熱戦は明日 城武徳會支部主催で明日午前十時より平第三小學校に催される郡下小學校の剣道大會出場校は本日迄に尋常科三

けふ林野組合で

優良組員を表彰

既報平署は本日午前十時より管内林野保護組合總會を會議室に開き豫算決算並に指示事項を協議し終つて左記七十三名の優良組員を表彰した

- (平蓬) 鈴木徳雄 太田徳雄 薄葉正憲 矢吹昌一 金古重貞 下藤信義 相田政市 新妻昇(飯野) 山野邊喜一 五十嵐萬治郎 山崎治平 北郷文雄 永山時三 丹野久留 江尻春光 永山傳(神谷) 八幡定一 佐川喜平治 會川壽松 志賀善吉 澤田章一 木村正(夏井) 阿部安清 鈴木廣之 坂本孝厚 渡邊五郎左衛門 新妻馨 高木英一 箱崎完江(下小川) 箱崎平 松本政

校、高等科八校の申込みがあり明日は母校の名譽を擔ふ小剣豪によつて火花散る熱戦が演ぜらる尙尋常、高等兩科各一本宛の優勝旗は昨日八日平署に到着燦然と輝いて居る、参加校左の如くである

- 平第一 第三 好問尋高 赤井第二 草野 豊間 玉川 高久 植田

吉岡理事出福

平自營會常任理事吉岡重太郎氏は御内帑金御下賜の傳達を拜受する爲め十一日午後一時から福島刑務所の傳達式に列席すると

第三方面青年團

來月三日總會を

既報石城郡第三方面青年團の團長會は來る十三日午前十時から平第一校に開き總會開催日取其他の件に就いて協議するが總會は來月三日平町警察署に於いて開催する豫定である

卓球選手権

参加者に

記念章贈呈 平卓球協會主催大塚運動具店後援の第二回優勝旗争奪關東北個人選手権卓球大會は來る二十四日午前八時か

岩間人ジンを

郡下特産物に

神谷農場が栽培指導

神谷農場試験分場は郡下農村の特産物奨励の爲め過般植田町岩間方面より産出する岩間人蔘の品質鑑定を郡山の本場に依頼した處品質は非常に良好で内地人蔘としては最も賣行を示して居

- 田良夫 吉田武一 白鳥肇 高萩保(下永井) 柴崎彌三郎 柴崎初義 阿部市三郎(上永井) 藁谷喜知平 熊谷春江(大和) 片寄留吉 篠崎清吉(柳小屋) 遠藤榮(横川内倉) 佐藤丑藏 田久壽福

於て開催される第四回郡下女子ピンポン選手権大會出場選手を本日左の如く決定した

學藝會の期日

平第一小學校の學藝會は來る二十三日開催と決定した

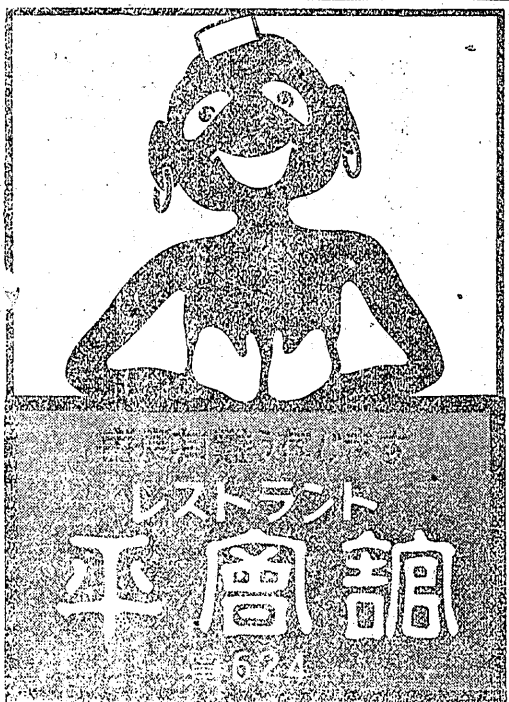
平町人事

△正月町一三 根本正氏長女ヒデ

長唄御稽古案内

三味線お唄共に晝夜御隨意 出稽古も致します

平町一丁目南川岸 (渡邊鏡砲店裏) 長唄師匠 杵屋六美



レストラン 平岡館

殺人犯四名が

築港人夫に化けて

小名濱に潜伏中を逮捕

警視廳の秘密電話

平警察署は去る七日夜警視廳から

去月廿七日千住に突發した請負殺しの共犯者四名が小名濱町に潜伏中の旨秘密電話を受け逮捕方を依頼されたので俄然署内は色めき立ち直ちに手配し八日午前二時頃安藤刑事部長以下全部の刑事隊が自動車飛ばし同町字定西大工職木村惣三郎方で築港人

夫に化けて潜伏して居た鈴木光雄(三)菊地惣一郎(三)吉田政雄(三)鈴木榮次(三)の寝込みを襲ひ有無を云はせず一網打盡に引捕へ平署に留置し昨夜七時身柄引取りの爲め來平した東京千住署の富田、深川、猪股三刑事に引渡し本日平驛發十時四十一分で東京に向け押送した

入浴中の相手を

滅多斬りに惨殺

他にも共犯者が十名

事件は去月廿七日東京市足立區本木町二ノ二一五一土木請負業森川組の森川一利(三)が同町鶴の湯車五十嵐於喜方で入浴中豫てより繩張争ひをして居た同町柳下組の者に襲はれ日本刀で滅多斬りに惨殺され人々を戦慄せしめたが其後小俣金藏(三)沼田情一(三)が千住署に自首した結果共犯者の別項四名は事件後卅一日に菊

地の知人である小名濱の大木村方へ逃亡し其筋の眼を逃れた事を警視廳の知る處となり今回の逮捕を見るに至つたものにて共犯と目する者は他にも十名ある由農村を捨て炭礦に去る茨城縣東茨城郡河村字飯野梅瀬藏之助長男信三(三)は去る五日農村生活が嫌に

平驛長から

學校側に苦情

乗務員の云ふ事をきかぬ

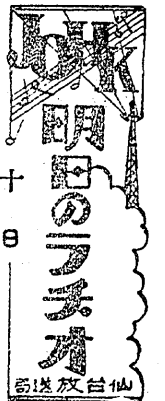
湯本方面から毎日平町の各中等學校に通學する生徒等の爲めに當てある平驛着午前八時十分の學生列車は緩驛からは満員となり車内が混雑するので乗務車掌がその整理に聲を濁らすが入口のデッキや洗面所甚だしはの便所等に立塞がり仲々乗務員の云ふ事を肯かないので是れでは困ると近く平驛長から學校側に苦情を發する由

鈴木事務の

決意壮たり

いふ挨拶状

江口忠一氏逝去後の堀江工業は重役會議の結果長男軍二君が目下東京在學中は付



今晩も明日の北西の風晴曇半す

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間 幼児の爲めのお話「動物園」お話俱樂部 部竹内迪子
- 後六、二五 英語講座(二)の三) 細江逸記
- 後七、三〇 義太夫 竹本越喜太夫
- 後八、一〇 浪花節「赤城の子守唄」春日井梅雪
- 後八、四〇 漫談 西村小親から捜査方を願ひ出た

明日の部

- 後九、〇〇 時事解説
- 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組預告
- 前八、一〇 百日間荒行成滿國議會實況—千葉縣中山法華經寺中繼
- 前八、三〇 子供の時間 管絃樂と合唱 日本放送交響樂團

尋五圖書競技

二小學校の第二回尋五以上圖書競技會は既報の如く今日九日午後零時半から同校講堂に於て開催された

部落毎に

父兄懇話會

植田小學校は家庭と學校との聯絡を圖る爲め舊正月の農閑期を利用して各部落毎に十四日より四日間父兄懇親會を開くと

道路の手入れに

模範工夫の努力

平土木監督所の府野君

知事から表彰さる

平土木監督所道路工夫久保町居住府野吉(三)さんは縣知事より表彰される旨本日同所に通知あつたが同氏

- 前二、〇〇 レヴェー「美人島」渡邊篤外
- 後三、〇〇 映畫劇「風流深編笠」日活時代劇部尾上菊太郎外
- 後六、〇〇 子供の時間 お話「氷上謝肉祭」佐藤昌彦
- 後六、二五 産業ニュース
- 後七、三〇 講演「臺北より御講書始めと臺灣」臺灣帝大總長文學博士弊原坦
- 後八、〇〇 ビアノ獨奏アレキサンデルルチエレブニン
- 後八、三〇 舞臺劇「東京劇場中繼市川左團次一座

- 前一、〇〇 日曜勤王
- 前二、〇〇 講演「極東第一の書」東北帝大教授福井利吉郎
- 前一、一〇 講演「ハルハ廟附近の事情」陸軍砲兵大佐遠藤壽徹
- 前一、四〇 第十三回全日本スキー選手権大會實況「札幌神社外苑宮ノ森競技場中繼」
- 後五、〇〇 滿洲より(新京)講演「大同學院の使命」大同學院教授半田敏次
- 映畫とレヴェーの午後
- 後一、二〇 映畫劇「民衆の大陽」新興現代劇部森

- 静子外
- △印刷工見習 十八才 尋卒 住込月四圓
- △採炭夫 日給一圓二十錢
- △女中 十七才 月四五圓
- △雜役 二十三才 尋卒
- △土工 三十四才 尋卒
- △雜役 二十二才 高卒
- △機械製作 十七才 尋卒
- 以上いづれも給料面談...

白虎隊が人氣

小學校は今九日午前九時から同校講堂に一般父兄を招待學藝會を催したが補習學校生徒の白虎隊劇は頗る人氣を博した

平商の自治會

自治會は今九日午後一時より同校會議室に開き來週の行事を協議した

平職案紹介所報告

回人を求める方
△カマド製造工 廿才迄 日給五千錢以上

△カマド製造工 廿才迄 日給五千錢以上

毎度有難うございます

洋食 喫茶 宴会

エビフライ
ピフテキ

コンパル 666.ELT

平驛前新道通り



明治太平記

(案編新編)
上段及上段

(作) 寺島証史
(畫) 野口 運

第四十九回 助太刀商賣 (六)

「軟化したな」

「いや、この副島の肚は終始一貫してをる。その證據には、いまのその話はけつして他言はせんよ」

大志賀はもえるやうな眼で副島を凝視した。

——副島も新政府に反感を抱いてをるな……

折角開化男の井手六三郎の才覚した婦人中禮服ではパークスの氣に入らぬとみえて、おとわはやはり、くつきりと襟足の白い島田に唐縮緬の振袖姿で、らしやめんの名をうたはれてをつた。

だが、どうしたものか、公使パークスは、なめ廻すほどおとわを愛してをるに拘らず、この生きた人形を一度だつて品川御殿山のおのが館へ呼びよせたことはなく、いつも築地ホテルの瓦張り生子漆喰壁の二階建の本館の一室へこつそりかくしておいた。

本館の山鉾のやうな中央塔にある方位を示す十字形や風位を示す弓矢をぼんやり眺めて、あけくれを送るよりほかはなかつた。——どうしてあたしを館へ連れていつてくれないのでせう。じれつたさに髪のはつれ



毛を糸切歯で噛み締めながら、おとわは、いくたびかそれを呟いた。白晝碧眼のパークスに愛されて、それで終るくらゐならすゝんで洋妾を志願しはしないのだ公使の身邊を護つてをる陸軍大佐ウエルズに近づいて兄の仇を報りたいばかり

に、人の忌み嫌ふ洋妾境涯にまで身を墮としたのである。紅毛碧眼に身をけがされて、このまゝ終るくらゐなら、死んでも死に切れない。おとわはもう、この苛立たしさのやも場を、どこへ吐き出していかかわからなくなつた。

——いつそ……
いつそこのホテルを抜け出して御殿山の館へ忍び入つてウエルズの寢首を掻いてやらうか……とまでつきつめて考へてもみた。が、そばではかへつて事を仕損ずる。ことに女の腕

やつては來ず、いつも、いつも、いやなパークスのけだものゝやうな愛情だけだ——もうあたし……
玻璃窓により添うて、方位の十字形をぼんやり眺めながらいつも絶望の吐息を洩すのだつた。
今宵も、おとわは、お馬車でもやつてきたパークスのけだものゝ愛情をうけて、自責と後悔にしをれながらやつとそれを送りかへしたばかり、けがれた肌にしみる、初秋の夜風を感じながら、細目に開けた窓からくらしい海を望見してをつた

有給外務員數名募集

一、廿五才以上 經驗の有無を不問男女數名
一、固定給の外旅費支給す
御希望の方は履歷書持參來談を乞ふ
(明治十四年創立)
保險の開祖

明治生命保險株式會社

所長 平野事務所
平野康所
平、仲町

市原醫院

平町田町(電一四番)

内科 小兒科 市原卯太郎

外科 梅毒・淋病 市原三三男

入院隨時

丹野齒科醫院

丹野 淳夫

店主	か	正	正	正
を運	れる	シ	シ	シ
れて		イ	イ	イ
行		酒	喫	食
		場	茶	堂

平。田町
ラレスト サロン
電話五〇七番

藤沼醫院

平町・紺屋町
電話五〇七番

夜 間 診 療

腸胃 性病

内科 皮膚科
胃腸病科 花柳病科
性病科

専門

院醫科性病胃腸村松
(番七〇一電町南町平)

吸入用酸素

純度 99%

モノサシ
マス
ハカリ

器量計
體溫計
寒暖計

●寫真材料 販賣致シマス

關内藥局

電話四〇番

玉屋洋品店

平町田町通電話六五六番